

2020年12月8日

千葉県知事 森田 健作様

社会保障推進千葉県協議会

会長 鈴木 徳男



地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会

代表 後藤 英輝



新型コロナウイルス感染症から県民のいのちと健康を守り、 地域医療と介護提供体制の充実を求める要望書

日頃より県民のいのちと健康、地域医療と介護・福祉行政の充実にご尽力されていることに加え、国の相次ぐ社会保障制度改革の上で県民の立場でご努力されていることに敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中で、医療提供体制の強化と国民生活の支援・補償が喫緊の課題となっています。感染が拡大し「医療崩壊」が危惧される状況の背景には、これまでの効率優先の医療提供体制の再編や、医師、看護師をはじめとした医療従事者の抑制政策、そして感染症対策の要としての保健所を減らしてきた日本の医療・社会保障政策があり、そのことが医療現場に多大な混乱と苦難をもたらし、国民のいのちを危うくしていると言っても過言ではありません。

とりわけ「公立・公的病院統合・再編」は、公立（自治体立）病院が地域に果たしている役割・使命を否定し、持続可能な地域づくり逆行するもので、地方6団体や医療関係団体からも不安・懸念の声が上がっています。

私たちは、こうした国の諸施策の具体化を許さない取り組みを進めていますが同時に、県民の医療・介護・福祉の充実と、全国的に最低水準と指摘されているこの分野の行政水準を改善するために以下の要望をいたします。

つきましては懇談の機会とあわせ、要望書に対する文書回答をお願いいたします。

記

<懇談日時> 2021年 1月 27日(水) 午後 2時～4時

<要望事項>

1. 新型コロナウイルスから県民のいのちと健康を守るために次の施策を推進すること。
 - (1) 医師の判断により、必要な抗原検査（P C R 検査等）、抗体検査が受けられるよう、医療機関の体制拡充、人材確保、財政支援をおこなうこと。
 - (2) 新型コロナウイルスから県民のいのちと健康を守るために正確な情報と施策を迅速に県民に提供（公開）すること。
 - (3) 感染症病床をゆとりも含めて拡充すること。その際、医療機関への財政的な支援と同時に人材確保への支援を強化すること。
 - (4) すべての医療機関、介護事業所に衛生材料、とりわけ医療用手袋の安定的な供給のために県が確保し「現物支給」すること。
 - (5) 医療・介護従事者の安全のため、①処遇改善の推進 ②人材確保支援 ③公費による P C R 検査と感染防御策の徹底を図ること。
 - (6) 新型コロナウイルス感染症対応に係る医業費用の増大、空床や受診抑制などによる医業収益の減収に対して、国の直接支援の拡充を求めるとともに、県独自の病院経営支援策を講ずること。また、補助金の迅速な執行をすること。
 - (7) 保健所の増設と機能の充実・人材確保を早急に行うこと。
2. 全国最低水準の医師、看護師の確保対策を抜本的に拡充すること。
3. 厚労省の画一的、かつ地方自治を無視した公立・公的病院の「再編・統合」の「再協議」要請の白紙撤回を求める。その上で、「公表」された県内 10 病院が設立された背景や、今日果たしている役割、少子高齢化の下での持続可能な地域づくりを進める立場から存続・充実のために、当該自治体を支援すること。
4. 新型コロナウイルス感染症対応の教訓を生かし、現状の全国最下位水準の医療・介護提供体制の拡充や地域格差の解消、2025年の超高齢社会に伴う医療・介護需要の急増に伴う提供体制の強化を図ること。そのために平成28年（2016年）3月に策定した「千葉県保健医療計画（地域医療構想）」を見直すこと。
5. 県立病院の存続・充実をすすめ、地域中核病院である東千葉メディカルセンターへの人的・財政的支援を強化すること。

以上